

北海道和光純薬 | アルテア技研 | 黒川製作所 | ハーモニ産業 | コスモトレーディング | 正晃
パーキンエルマー共催

列島横断代理店共催 パーキンエルマーウェビナー2023

事前
登録制

日時

2023年7月26日(水) 13:00-17:30

申込締切 2023年7月21日(金) 17:00

参加申込 URL

<https://event.perkinelmer.co.jp/event/49655/clbw23>



参加形式

Microsoft Teams

※ご使用経験のない方はご相談ください

※当日参加 URL は後日お送りいたします。

※参加当日お名前を入力いただけますが、参加 URL 連絡の際付与するお申込番号での参加も可能です。

参加費

無料

全国主要6代理店(北海道和光純薬、アルテア技研、黒川製作所、ハーモニ産業、コスモトレーディング、正晃)とパーキンエルマーで、Webセミナーを共催いたします!

本ウェビナーでは、東京医科歯科大学・奈良 雅之先生と
東京工業大学・沖野 晃俊先生をお迎えし、ご講演いただきます。
招待講演以外にも分析テクニックのあれこれをわかりやすく解説いたします。

どなたでもご参加可能です。

お申し込みいただいたお客様に、当日参加用 URL をお送りいたします。

講演内容は裏面をご覧ください。

ご不明点は裏面のお問い合わせ先または各営業担当者までお気軽にお知らせください。

皆様のご参加をお待ちいたしております。

参加特典



参加者全員にもれなく
ノベルティを進呈

(後日お渡し)



分析消耗品を

20% OFF でご提供※



※ 2023年8月末日ご発注分まで、JP品番、サービスパーツは除く

スケジュール

13:00-13:15	開会のご挨拶・PerkinElmer Japan 発足のご挨拶	
13:15-14:00	 招待講演	キンギョの鱗のカルシウム代謝 - 赤外イメージングによるアプローチ 奈良 雅之 先生 東京医科歯科大学統合教育機構教養教育部門 教授 兼担 教養部化学分野 教授 大学院医歯学総合研究科領域創成科学分野 教授 キンギョの鱗は破骨細胞と骨芽細胞によって代謝が調節されていることから、ヒトの骨の代替となる研究対象として注目されています。 本講演では、キンギョの再生鱗の赤外イメージングによるアプローチについてご紹介します。
14:00-14:05	クロストーク	
14:05-14:25	 PKJ ワークショップ	赤外反射イメージングによる 非破壊・非接触表面分析の基礎と応用 ハイエンド UV/Vis/NIR + TAMS による 先端光学材料の全自動角度可変計測 新居田 恭弘 アプリケーションリサーチラボ 分子分光分析担当 赤外反射イメージングは物質表面の組成分布を非接触で可視化する強力な手段です。半面ベースラインの歪みや負のピークが解析を困難にします。背後にある物理現象を読み解き、実機操作を交えて解決方法を説明します。 高性能フィルム、車載用ディスプレイ等に使われる先端光学材料は材料の透過、反射時に散乱する光の制御が重要ですが、従来法では検知が不十分です。試料の散乱光の角度依存性を全自動で計測する手法をご紹介します。
14:25-14:45	代理店リレー中継 (各代理店からのレポート)	
14:45-15:00	 PKJ 講演	入力補償型 DSC の特長である、 高速昇降温の追従性の良さを生かした、 試料の熱物性の評価方法を検討 伊藤 友能 営業本部西日本営業部 最大 750℃ /min の昇温・高温速度を利用して、通常の測定速度では見逃してしまう可能性のある熱転移についての測定事例をご紹介します。
15:00-15:15	ラボ中継 (パーキンエルマー本社ラボルームからのレポート)	
15:15-16:00	 招待講演	ICP を用いた単一細胞中の微量元素分析と 低温プラズマの分析応用 沖野 晃俊 先生 東京工業大学 科学技術創成研究院 未来産業技術研究所 准教授 東工大沖野研究室では、ICP を使用した単一細胞等の微量試料の分析と、低温の大気圧プラズマを用いた薬剤分析の研究を行っています。 講演では、それらの原理と分析手法開発の現状をご紹介します。
16:00-16:05	クロストーク	
16:05-16:25	 PKJ 講演	ICP-OES の理解を深めるあれこれ ～実験データに基づく事象の深掘り～ 古川 真 アプリケーションリサーチラボ 無機分析担当 プラズマの採光位置で感度も定量値も変わってしまう、測定再現性における繰返し測定回数と積分時間の関係、ハロゲン測定、SmartQuant による迅速定性・評価などを通じ、ICP の本質をもう一歩理解できる細かい話をご紹介します。
16:25-16:30	クロストーク	
16:30-16:55	 PKJ 講演	ICP-MS におけるコリジョンリアクションセルには なぜ、四重極が必要なのか？ 敷野 修 アプリケーションリサーチラボ 無機分析担当 真のトリプル四重極を搭載した ICP 質量分析装置 (NexION 5000 シリーズ) を用いた高マトリックスを含むサンプル中の微量不純物の測定方法 (JIS でも認められたクラスタ法による) などについてご紹介します。
16:55-17:00	クロストーク	
17:00-17:15	 PKJ ワークショップ	「スマート・シンプル・サステナブル」な新製品、 GC 2400 シリーズのご紹介 梅澤 理賀 アプリケーションリサーチラボ クロマト担当 容易なメンテナンス性を兼ね備えた GC/MS 2400 のイオン源交換の実演をはじめ、独自の圧力バランス技術を搭載した HS 2400 の特徴を交えて、PerkinElmer の技術を濃縮した新製品をご紹介します。
17:15-17:30	閉会のご挨拶・JASIS 2023 出展の見どころ	

※セミナーの録画・録音・画面のスクリーンショットはお控えください。またそれらの二次利用もご遠慮ください。
 ※プログラムは予告なく変更となる場合がございます。
 ※当日の進行状況により、各演題の開始時間が前後する場合がございます。

本ウェビナーに関するお問い合わせ

PerkinElmer Japan 合同会社 マーケティング & チャネルビジネスグループ
 TEL 045-339-5865 E-mail PKJ_Marcom@perkinelmer.com

PerkinElmer Japan 合同会社

www.perkinelmer.co.jp

本社 〒240-0005 横浜市保土ヶ谷区神戸町 134 横浜ビジネスパーク テクニカルセンター 4F
 営業本部 TEL. (045) 339-5861 FAX. (045) 339-5871
 プロダクトサービス部 コールセンター TEL. (045) 330-0399 FAX. (045) 330-1868 ※ TEL・FAX が変更になりました


PerkinElmer
 For the Better